

# レジテクトCS-WP工法

高架橋では、上下（内外回り）線の中央分離帯部分に遊間が設けられている場合があり、この遊間に雨水が浸入することで、以下の不具合が懸念されています。

- 1 コンクリート床版の裏側面の劣化促進
- 2 遊離石灰質の発生と遊離塊の落下
- 3 高架橋下への雨水の落下



中央分離帯の遊間部分



遊間の裏面



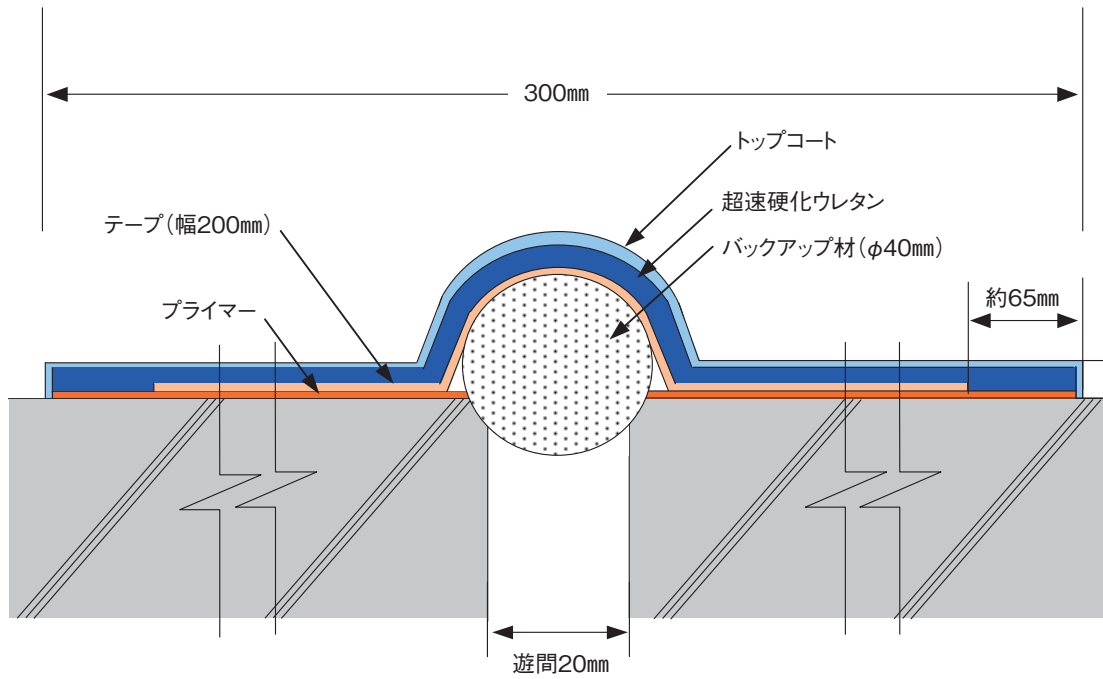
高速道路の中央分離帯

## 特長

- 雨水の浸入を長期にわたって防止します。
- 通行車両による振動（上下動）に長期にわたって耐えられます。
- 供用中の振動（上下動）の中でも支障なく施工ができます。
- 供用中は車線規制、時間規制が伴うため、工期短縮に有効です。
- 仕上がりが、景観に調和します。



## 構成図



## 施工工程

工 程		作業 6時間	
1	研磨工	1.5時間	100mを 1日で 施工完了
2	プライマー工	0.5時間	
3	バックアップ工	0.5時間	
4	テープ工	0.5時間	
5	防水工	2.0時間	
6	上塗工	1.0時間	